

扶桑町地震対策補助金について

災害対策室 内線 352

扶桑町では、地震発生時における被害の減少と自助による町民の防災力の向上を目的として、家具転倒防止や窓ガラス等の飛散防止、感震ブレーカーの設置等を補助対象とした地震対策費用の一部を補助します。

1世帯につき、1年度に1回を限度として補助金を交付します。また、補助期間は、令和4年（2022年）3月31日までです。

◆ 補助対象になるもの

扶桑町に住民登録がある世帯主又は世帯員の方が対象です。補助対象となる地震対策は次のとおりです。

- 家具の転倒防止器具及びその取付費用
- 家具からの食器等の落下を防止する器具及びその取付費用
- 窓ガラス等の飛散防止フィルム及びその取付費用
- 感震ブレーカー（分電盤タイプ・コンセントタイプ・簡易タイプ）及びその取付費用

◆ 補助金の額について

補助対象となる地震対策の経費（消費税及び地方消費税の額を含む）の5分の4の額（100円未満は切捨て）で、1回の補助限度額は1世帯あたり1万円です。

◆ 申請手続きについて

次の書類を災害対策室へ提出して申請してください。（災害対策室窓口またはホームページから入手できます。）

- 扶桑町地震対策補助金交付申請書
- 同意書（賃貸住宅の場合で、壁に穴を開ける、釘を打つ等住宅に損傷を与える恐れのあるときのみ提出が必要）
- 扶桑町地震対策補助金交付請求書
- 品名（規格）及び購入日（工事日）が記載された領収書（押印してある原本）等支払いの事実が確認できる書類
- 地震対策実施後の写真

※補助金は、口座振込になりますので、申請者本人名義の口座番号を必ずご記入ください。

避難情報を5段階の「警戒レベル」でお知らせします

災害対策室 内線 352

大雨などによる災害の危険度をわかりやすく伝えるため、下記の5段階の「警戒レベル」を用いた避難情報等の運用が開始されています。情報を正しく理解し、警戒レベルに応じた適切な避難行動をとりましょう。

警戒レベル ※1	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5 (災害発生)	すでに災害が発生しています。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 ※2 (町が発令)
警戒レベル 4 (全員避難)	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） ※3 (町が発令)
警戒レベル 3 (高齢者等は避難)	避難に時間を要する方（高齢者、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は、避難しましょう。 その他の方は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (町が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (警報級の可能性) (気象庁が発表)

※1 警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。

※2 災害発生情報は、災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではありません。

※3 避難指示（緊急）は、地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合等に発令されるものであり、必ず発令されるものではありません。

避難所における 新型コロナウイルス感染症への対応について

災害対策室 内線 351・352

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される状況において、地震や風水害等が発生し避難所を開設する場合には、3つの密が重なりやすく、感染症対策が重要となります。町では、避難所内での感染症拡大を予防するため、以下の対策を行います。

多くの避難所の開設

台風災害時は、例年より4箇所多い7箇所の学習等共用施設（高雄、扶桑東、山名、山名西、斎藤、柏森、柏森中央）を避難所として開設する予定です。

自宅療養者等の避難

自宅療養者（PCR検査により陽性と判定された方、濃厚接触者（PCR検査で陽性と判定された家族等））等が自宅待機期間中に避難した場合、部屋を分けるなどして保健所に連絡し指示に従います。

避難者の健康状態の確認

避難所受付時に検温の実施や健康状態の把握を行い、健康な方と発熱等の症状のある方との居場所を分けるなどの対応を行うとともに、保健師を派遣し避難者の健康状態をチェックします。

基本的な対策の徹底

手指消毒液の設置、マスクの着用、咳エチケット、十分な間隔の確保、換気の励行等、基本的な対策を徹底します。



上記の対策を行い、可能な限り避難所の衛生環境の確保に努めてまいります。避難所への避難が必要かどうか、次の内容を確認してください。

お住まいの地域について確認する

「避難」とは「難」を「避」けることであり、ご自宅での安全確保が可能な方は、感染症のリスクを負ってまで避難所へ行く必要はありません。お住まいの地域の浸水想定区域等を防災マップ等で確認していただき、災害の危険性を把握し、適切な避難行動についてご判断をお願いします。

親戚や友人の家等への避難を検討する

避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な地域にお住まいの親戚や友人の家等への避難や自宅内の安全な場所や垂直避難を行うなども検討してください。



避難所へ避難する場合のお願い

上記について確認したうえで、避難所への避難が必要な場合には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の点についてご協力をお願いします。

- 水や食料だけでなく、マスク、体温計、上履き、ゴミ袋などの必要な物を各自で持参してください。
- 手洗い、マスクの着用や咳エチケットの徹底など、基本的な感染症対策を行ってください。
- 避難所内では十分な換気を行いますので、暑さ対策や防寒対策を各自でお願いします。
- 発熱や咳等の症状が見られた場合には、速やかに避難所職員にお申し出ください。